

2019年度春季（第40回）国際コミュニケーション・フォーラム 「5Gが拓くデジタル社会—その進化の行方」

2019年6月29日（土）受付：14：00 開演：14：30

白鷗大学本キャンパス 白鷗大学ホール

プログラム：（敬称略）

14：30～14：35 会長挨拶

川崎賢一（情報通信学会 会長／駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部 教授）

14：35～14：45 招聘校挨拶

奥島孝康（白鷗大学学長）

14：45～15：15 基調講演1「5G時代に向けたKDDIの取り組み」

田中孝司（KDDI株式会社 代表取締役会長）

15：15～15：45 基調講演2「Unwired: インターネット社会への5Gインパクト」

村井 純（慶應義塾大学環境情報学部 教授）

15：45～16：15 パネリストによる発表

「中国の現状と課題」 趙 敬（中国伝媒大学ニューメディア研究院 助教授）

「韓国の現状と課題」 趙 章恩（東京大学大学院情報学環 特任助教）

「欧米の現状と課題」 杉沼浩司（日本大学生産工学部 非常勤講師／映像新聞 論説委員）

16：15～16：30 休憩

16：30～17：50 まとめ・質疑応答・ディスカッション

三友仁志（早稲田大学大学院アジア太平洋研究科長・教授）

*総司会 湧口清隆（相模女子大学人間社会学部 教授）

18：00～20：00 懇親会 （白鷗大学本キャンパス本館11階 会議室）

参加費： 無料

参加申込： 学会ホームページよりお申込みください。

<http://www.jsicr.jp/>

*懇親会参加は、別途有料（一般5,000円、大学院生3,000円）となります。フォーラム参加申込と併せてお申込みください。

主催： **JSICR** 公益財団法人情報通信学会

共催：公益財団法人KDDI財団

後援：総務省、日本電信電話株式会社、東日本電信電話株式会社、西日本電信電話株式会社、株式会社NTTドコモ、KDDI株式会社、ソフトバンク株式会社、富士通株式会社、日本電気株式会社、株式会社東芝、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社、NHK、公益財団法人電気通信普及財団、一般社団法人日本民間放送連盟、一般社団法人日本新聞協会、一般財団法人テレコムエンジニアリングセンター、一般社団法人電波産業会、一般財団法人マルチメディア振興センター、一般財団法人情報法制研究所

会場案内

白鷗大学 本キャンパス

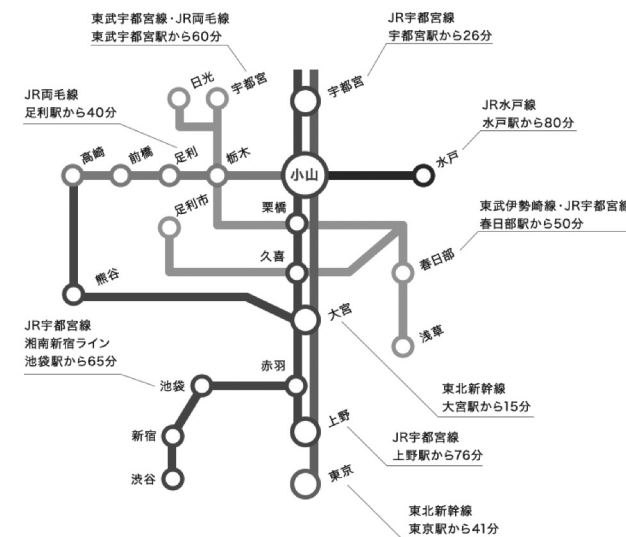
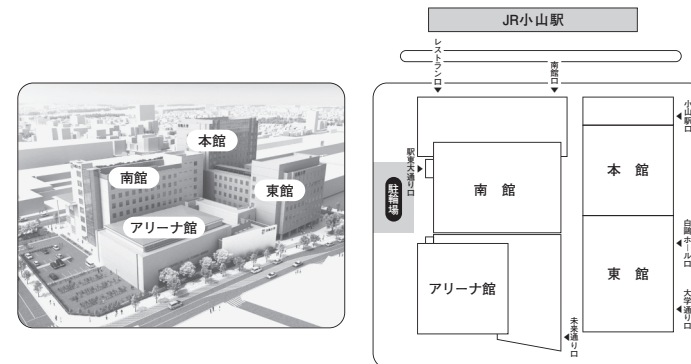
〒323-8586 栃木県小山市駅東通り2-2-2

<交通アクセス>

JR小山駅東口より徒歩1分

・東北新幹線：東京から41分、大宮から15分

・宇都宮線（普通）：東京から80分、池袋から65分、大宮から50分



・6月29日（土）
学会大会：東館 4階 403、404教室
総 会：東館 4階 405教室
国際コミュニケーション・フォーラム：白鷗大学ホール
懇 親 会：本館 11階 会議室

・6月30日（日）
学会大会：東館 4階 403～406教室



NO.98

2019年5月25日

2019年度春季（第40回）情報通信学会大会・総会及び、
国際コミュニケーション・フォーラム開催のご案内

公益財団法人 情報通信学会
会 長 川 崎 賢 一

2019年度春季は、白鷗大学を開催校として、6月29日（土）、6月30日（日）の2日間にわたり、学会大会を開催すると同時に、6月29日（土）に国際コミュニケーション・フォーラムを「5Gが拓くデジタル社会—その進化の行方」をテーマに開催いたします。また、本大会は、2019年度情報通信月間の参加行事になっています。

第40回国際コミュニケーション・フォーラム 「5Gが拓くデジタル社会—その進化の行方」

5Gは、4Gまでの携帯電話の延長線上にはない。5Gにより、企業の生産活動、自動運転、さらにはエンターテインメントの分野にも多様なサービスが提供可能となる。そのような5Gがもたらす新たなデジタル社会に向けて、現在、中国、韓国、そして欧米ではどのような新たなチャレンジが展開されているのか？それに対して日本は、5G市場でどのような活路を見出していけるのか、その行方を探る。

第40回情報通信学会大会

6月29日（土） 個人研究発表（大学院生セッション）
総会・懇親会
6月30日（日） 個人研究発表（一般セッション）
ポスターセッション
研究会報告・特別報告

公益財団法人 情報通信学会 事務局

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-1
日土地ビル11階

電話 03-5501-0566 FAX 03-5501-0567
e-mail：office@jsicr.jp URL：http://www.jsicr.jp/

2019年度春季（第40回）学会大会プログラム

主 催 公益財団法人情報通信学会
協 賛 情報通信月間推進協議会

1日目〔6月29日(土)〕 白鷗大学本キャンパス 本館・東館

時 間	内 容	
10：00～	受 付	
	アーリーバード（個人研究発表 大学院生セッション）	
10：30～12：00	第1会場 東館403教室	第2会場 東館404教室
	【A】司会者：庄司昌彦（武蔵大学）	【B】司会者：高崎晴夫（KDDI総合研究所）
	中国におけるネットスラング研究 ーサブカルチャーファンコミュニティの視点からー 李思園（早稲田大学大学院生）	ドローン群に対する交通支援AR・HOTブロックの構築及び有 効性の検証 森倉祐（芝浦工業大学大学院生）
	討論者：庄司昌彦（武蔵大学）	討論者：木暮祐一（青森公立大学）
	THE PRODUCTIVITY EFFECTS OF INNOVATION: An Em- pirical Study of the Manufacturing Industry of Information and Communication Technology in China LI Junjun（早稲田大学大学院生）	モバイルマネーの普及をめぐる競争政策的課題 大槻芽美子（九州大学大学院生）
	討論者：宮崎久美子（東京工業大学）	討論者：林秀弥（名古屋大学）
	中国におけるOTTサービス産業の発展 ーマルチスレッド管理モデルと地元大手企業の勃興ー 発表者：劉佳（台湾政治大学大学院生） 菅谷実（白鷗大学）	
	討論者：脇浜紀子（京都産業大学）	
12：00～13：00	昼休み	
13：00～13：50	総会（会場：東館405教室）	
18：00～20：00	懇親会（会場：本館11階会議室）	

2日目〔6月30日(日)〕 白鷗大学本キャンパス 東館

ポスターセッション
アジア地域の情報通信技術産業生態系における地政経学的マッピングの試み 発表者：河又貴洋（長崎県立大学） オンラインにおけるコミュニティサービスの利用実態について 発表者：大谷光一（武庫川女子大学） 米国の情報通信・自然科学・キリスト教精神 発表者：池末成明 インターネット利用の国際比較：World Internet Project日本チーム（JWIP）調査報告ー日本人のネットへの信頼度とプライバシー意識ー 発表者：石井健一（文教大学）

学会大会参加申込
参 加 費 正会員及び賛助会員 4,000円 正会員（院生）2,000円 非会員 6,000円 非会員（院生）3,000円 懇親会費 一般5,000円 大学院生3,000円 昼食弁当 1,100円（1日のみ）2,200円（2日間ともに）＊事前申込制 申込方法 学会ホームページよりお申込みの上、同封の振込用紙にて参加費等を6月24日（月）までに振込みくだ さい。 ＊非会員の方は、学会ホームページよりお申込みの上、当日受付にて参加費等をお支払いください。 資 料 個人研究発表資料は学会ホームページよりダウンロード可能です。

おことわり：プログラムは、一部変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

2日目〔6月30日(日)〕 白鷗大学本キャンパス 東館

時 間	内 容			
10：00～	受 付			
	個人研究発表（一般セッション）			
10：30～12：00	第1会場 403教室	第2会場 404教室	第3会場 405教室	第4会場 406教室
	【C】司会者：高崎晴夫（KDDI総合研究所）	【D】司会者：生貝直人（東洋大学）	【E】司会者：西岡洋子（駒澤大学）	
	インターネット利用国際比較調査の現状と今後 ～WIP (World Internet Project) 20年の活動への日本チー ム（JWIP）の取り組みから～ 発表者：小笠原盛浩（東洋大学） 木村忠正（立教大学） 石井健一（文教大学） 遠藤薫（学習院大学） 三上俊治（東洋大学） 橋元良明（東京大学）	ダウンロード違法化騒動から何を学ぶか ー日本版フェアユース再考のすすめー 発表者：城所岩生（国際大学GLOCOM）	インドにおけるデジタルメディアの進展に関する一考 察 ーオンライン動画配信サービス市場の事業者動向に関 する英国の事例との国際比較ー 発表者：藍沢志津（マルチメディア振興センター）	
	討論者：山口真一（国際大学GLOCOM）	討論者：生貝直人（東洋大学）	討論者：西岡洋子（駒澤大学）	
	インターネット利用と先端技術の社会的実装： ーJWIP（WIP日本チーム）調査報告からー 発表者：遠藤薫（学習院大学）	漫画定額配信サービスの可能性 ー漫画村の経験よりー 発表者：田中辰雄（慶應義塾大学）	メディア利用におけるシャドウコストの推計 ー広告への不効用と過剰広告の可能性ー 発表者：穴倉学（長崎大学） 春日教測（甲南大学） 中村彰宏（横浜市立大学）	
	討論者：三友仁志（早稲田大学）	討論者：中泉拓也（関東学院大学）	討論者：竹村敏彦（城西大学）	
		【通信の秘密】に関する3つのアンバンドリングの必要性 発表者：林紘一郎（情報セキュリティ大学院大学） 田川義博（情報セキュリティ大学院大学）	米国及び韓国における有料放送市場の発展と競争 ーケーブルテレビ事業者を中心にー 発表者：三澤かおり（マルチメディア振興センター） 山條朋子（KDDI総合研究所）	
		討論者：成原慧（九州大学）	討論者：木村幹夫（日本民間放送連盟）	
	12：00～13：00	昼休み		
	13：00～14：30	【F】司会者：高口鉄平（静岡大学）	【G】司会者：田中絵麻（明治大学）	【H】司会者：庄司昌彦（武蔵大学）
	インターネット利用と社会的分断 ーJWIP（WIP日本チーム）調査からー 発表者：木村忠正（立教大学）	日本放送協会受信料債権と民法168条1項前段の適用の 有無 ー最高裁判平成30年7月17日第三小法廷判決ー 発表者：磯本典章（成蹊大学）	災害をアーカイブするとは ー東日本大震災の事例からー 発表者：中嶋延雄（早稲田大学）	特別報告（13：00～14：00） 総務省の情報通信統計の結果概要（平成30年情報通信 業基礎調査・通信利用動向調査）（仮） 報告：総務省 情報流通行政局 情報通信政策課 情報 通信経済室
	討論者：北村智（東京経済大学）	討論者：山野目章夫（早稲田大学）	討論者：鈴木比奈子（防災科学技術研究所）	
	中国人の対日消費におけるインフルエンサーマーケテ ィングの実態調査 ー広告代理店インタビューを中心に 発表者：劉亜菲（KDDI総合研究所） 宮脇景子（KDDI総合研究所） 間瀬公太（KDDI総合研究所）	パブリシティ権の一身専属性 発表者：斉藤邦史（慶應義塾大学）	行政機関が保有するデータの新規公開促進に向けた 「オープンデータ官民ラウンドテーブル」の考察 発表者：庄司昌彦（武蔵大学）	
	討論者：木村忠正（立教大学）	討論者：林紘一郎（情報セキュリティ大学院大学）	討論者：城所岩生（国際大学GLOCOM）	
	プラットフォーム事業者のデータの収集・活用に対す る人々の評価 ーCVM法による支払い意思額の推計ー 発表者：山口真一（国際大学GLOCOM） 佐相宏明（国際大学GLOCOM） 青木志保子（国際大学GLOCOM） 田中辰雄（慶應義塾大学）	リバタリアン・バターナリズムとインターネット青少 年保護 ー刈谷市児童生徒愛護会の取組を題材にしてー 発表者：齋藤長行（慶應義塾大学）	遠距離情報伝達の方性に関する動向のオントロジー 的考察 発表者：森田英夫（DTK） 島崎誠彦（元東海大学）	
	討論者：高口鉄平（静岡大学）	討論者：折田明子（関東学院大学）	討論者：庄司昌彦（武蔵大学）	
14：30～14：45	休憩			
14：45～16：00	研究会報告			
	情報行動研究会	インターネット政治研究会	モバイルコミュニケーション研究会	情報社会研究会
	プライバシーポリシーは読まれているか？ ～スマートフォン利用者調査実験による考察～ 報告者：篠田詩織（NTTセキュアプラットフォーム研 究所） 堀川裕介（東京大学学際情報学府博士課程） 討論者：松田美佐（中央大学） 司会者：橋元良明（東京大学）	ファクトチェックはフェイクニュースの拡散を止められる か？ 「沖縄知事選挙のフェイクニュースとファクトチェック」 報告者：滝本匠（琉球新報） 「アメリカ大統領選挙におけるフェイクニュース対策と してのファクトチェックの役割」 報告者：清原聖子（明治大学） 討論者：安藤恭子（東京新聞） 司会者：李洪千（東京都市大学）	次世代通信システム・サービスの社会的影響 「韓国で始まった世界初の5G商用サービスの概況と将 来展望」 報告者：木暮祐一（青森公立大学） 「eスポーツと社会」 報告者：中島賢一（福岡eスポーツ協会会長） 司会者：上松恵理子（武蔵野学院大学）	北米の情報アクセシビリティ ー現地調査（特にCCに関する）報告ー 報告者：稲瀬達也（芝浦工業大学大学院修士課程） 司会者：中村広幸（芝浦工業大学）